

第3次渋川市総合計画策定に係る市民説明会における意見交換概要

1 日時 令和8年7月16日（木） 午後7時～午後7時45分

2 会場 市民会館

3 意見交換内容

No.	意見	回答
1	新しい総合計画を策定するためには、現行計画（第2次渋川市総合計画）の成果を評価した上で取り組む必要がある。	令和8年度中に現行計画の中間検証を行い、その検証結果を踏まえながら新しい総合計画の策定を進めます。
2	総合計画において、PDCAサイクルなどの自己評価できる仕組みを構築する必要がある。	現行計画では取組の進捗状況を示す指標を設定しており、毎年度、その指標値の進捗を確認することで、計画の取組状況を把握しています。
3	大規模災害が起きた場合でも災害対応できる計画としてほしい。	総合計画は市政運営の方向性を示すもののため、個別具体的な内容は、分野ごとの個別計画において対応できるよう体系的に取り組めます。
4	人口減少する中では、行政も縮小していくことが想定されるので市民と協働してまちづくりを進める必要がある。	市民と協働したまちづくりについては、現行計画にも含まれており、重要な取組ですので、新しい総合計画でも位置付けを検討します。
5	まちづくりを主体的に行っている市民も多い。今後、そうした市民が増えるといい。	市民と協働したまちづくりが進められるよう、そうした環境づくりを進めていきます。
6	移住施策や雇用創出などにより人口減少を緩和することや縮小しつつある市民のコミュニティを維持することなど、人口減少する中でも快適に暮らせるまちづくりを進めてほしい。	人口減少する中でも市民の幸福度を高められるようなまちづくりを進めていきます。
7	起業など若い人がいろいろなことにチャレンジできるまちにしてほしい。	現在行っている創業支援などについて、若い世代の視点を踏まえ、新しい総合計画で再整理していきます。

<備考>

本資料は、説明会において参加者からいただいたご意見の概要をまとめたものです。説明会の結果は別途、報告書にまとめ公表します。